

CONTENTS [目次]

- ・病院薬剤師について
- ・新任医師紹介

INFORMATION [インフォメーション]

- 新ユニフォームのご紹介
- ゴールデンウィークの開院日について



新ユニフォームのご紹介



ケアワーカー



事務

New!

ユニフォームが新しくなりました。スタッフ一同、地域の皆様のためにより一層がんばってまいりますのでよろしくお願いいたします。



診療技術



看護師

お知らせ
ゴールデンウィーク中の診療については右記をご覧ください。

4/30(火) 通常どおり

5/2(木) 通常どおり

5/3(金) 休日当番医
【内科・外科・整形外科・眼科】

バス停のご案内

当院へバスでお越しの方は、最寄りの「すずかけセントラル病院」または「田尻橋北」のバス停からが便利です。病院へは、歩行者用の出入り口をご利用ください。



バス時刻表

「小沢渡」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 柏原西		2 田尻橋北 ⇒ 柏原西	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時		6時	50 [58]
7時		7時	30 46 [43]†
8時	26 [55]	8時	24 † [53]† [22]† [51]†
9時	[25]* 55 [23]* [53]	9時	[23]*† 53 † [21]*† [51]†
10時	25 * 55 [25]* [55]	10時	23 †* 53 † [23]*† [53]†
11時	25 * [55] [25]* 55	11時	23 †* [53]† [23]*† 53 †
12時	[25]* [55] [25]* [55]	12時	[23]*† [53]† [23]*† [53]†
13時	[25]* [55] [25]* 55	13時	[23]*† [53]† [23]*† 53 †
14時	25 * [55] [25]* [55]	14時	23 †* [53]† [23]*† [53]†
15時		15時	[24] * 54 [24] * 54
16時		16時	25 * 55 24 * [54]
17時		17時	[25] 55 [24] [54]
18時		18時	25 [55] [24] [53]

「浜松駅」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 浜松駅		2 田尻橋北 ⇒ 浜松駅	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時		6時	[11][37]≡ [26]
7時		7時	[07] 26 [47] [09][30][50]
8時		8時	09 29 [49] [19][57]
9時	22	9時	24 [23]
10時	[03] [34] [03] [33]	10時	[05][36] [05][35]
11時	04 [34] [03] [33]	11時	06 [36] [05][35]
12時	04 34 [03] [33]	12時	06 36 [05][35]
13時	[04] 34 [03] 33	13時	[06] 36 [05] 35
14時	[04] [34] [03] 33	14時	[06][36] [05] 35
15時	04 [34] [03] [33]	15時	06 [36] [05][35]
16時	[04] [34] [03] [33]	16時	[06][36][53] [05][35]
17時		17時	05 36 04 [34]
18時		18時	[36] [04][34]

す：すずかけセントラル病院経由 水：浜松市総合水泳場行 三：産業展示館東経由 三立製菓行
【】圏みは超低床ノンステップ「オムニバス」運行予定(車両整備等により「オムニバス」で運行できない場合があります。)

編集後記

もうすぐ浜松まつりですね。夜になるとラッパやお囃子の練習の音が聞こえてきて、まつりが待ち遠しく感じます。病院からも風向きによって、凧が見えるのを知っていましたか？私は今年も子供たちと参加する予定です。毎年、1日は雨が降ってしまいます。今年は3日間晴れるといいですね。



みなさんは薬剤師というどんな姿を思い浮かべるでしょうか。おそらく、お薬を調剤し、調剤したお薬を説明しながら患者さんにお渡しする人というイメージだと思います。もちろんそれは安心できる医療を提供する上で、欠くことのできない重要な仕事ですが、病院薬剤師の仕事はそれだけではありません。今回は、私たち病院薬剤師の「調剤以外のお仕事」を紹介したいと思います。

薬剤師の病棟業務

入院患者さんのもとに薬剤師が何って、お薬の効果や飲み方、注意点などを説明します。患者さんの症状や検査値等を確認し、お薬の効果や副作用をチェックしています。当院では、各病棟に薬剤師を配置し、病棟薬剤業務を実施しています。お薬の効果ならびに安全性の向上や医薬品関連の事故防止などを目的とするものです。全ての入院患者さんの持参薬を薬剤師が確認し、それまでの投薬歴、副作用歴などを把握します。入院後にお薬を使用する場合は、持参薬を含めて飲み合わせや重複がないかを確認します。また、年齢、体格や身体機能などを考慮して投与量を確認しています。場合によって、お薬の量や種類の変更、必要な検査の追加などを医師に提案します。



薬剤の投与設計

この他、病棟カンファレンスや医師の回診に参加し、薬物療法について提案をしたり、医師や看護師などの医療スタッフからの相談に対応したりしています。また、お薬を使用する上での注意点を医療スタッフに情報提供し、安全にお薬が使えるように努めています。

血中濃度という言葉をご存知でしょうか。お薬がみなさんの体に入ると、血

液によって循環し、作用部位に到達して効果を発揮します。血中濃度はこの血液中にあるお薬の濃度のことです。お薬の中には血中濃度が高すぎると副作用を生じやすくなったり、低すぎると効果が弱くなったりするために、血中濃度を厳密にコントロールすべきお薬があります。そのようなお薬を使用する時には、血中濃度の推移を予測して初期投与設計を行います。使用中も定期的に血中濃度を測定して治療が計画通りに行われているか確認しています。

外来化学療法

近年、がんの治療は、副作用の少ない抗がん剤の開発、副作用対策の進歩により外来での治療が主になっています。当院でも、薬剤科の隣に化学療法室を設置し、外来で点滴による抗がん剤治療を行っています。多くの場合、初回の抗がん剤投与は入院で行い、アレルギー等の重篤な副作用がないことを確認して、外来へ移行します。当院では入院中よりも、外来へ治療が移行した後も、薬剤師が患者さんのもとへ伺います。がん治療を継続していくためには、副作用のモニタリングが欠かせません。副作用対策のためのお薬の使い方についても説明しています。



持参薬外来

点滴で使用する抗がん剤は、薬剤師が無菌室にて混注作業を行っています。医師だけでなく、私たちも検査値などを確認し、抗がん剤を投与しても問題がないか確認しています。

血液を固まりにくくするお薬や糖尿病のお薬など、手術の前にお薬を中止する必要がある場合があります。入院し

て手術を受けられる予定の患者さんのお薬を、医師からの依頼により事前に確認します。薬剤師が事前に服用している薬を確認し、主治医ならびに麻酔科医に情報提供を行い、中止薬の確認をしています。

医薬品情報の収集と提供

お薬を安全かつ効果的に使用するためには、医薬品情報の収集が欠かせません。お薬は、臨床試験を終えて患者さんに使用されるようになった後も、新たに副作用が発見されたり、これまでとは違う病気の治療に使用できるようにしたりすることがあります。そのような最新情報を常にチェックし、医療スタッフや患者さんに最新の情報をお伝えできるようにしています。緊急性のある場合は、使用している医師に連絡して対応を話し合います。

収集した医薬品情報は、定期的に院内に配信します。また、院内で使用した医薬品で新たな副作用が見つかった場合、厚生労働省や製薬会社と情報共有し、医薬品の安全性が高められるように努めています。

チーム医療と専門領域への参加

病院で行われる医療行為は幅が広く、病院薬剤師が関わる範囲も多岐に渡ります。当院にはがん、緩和医療、栄養、糖尿病など、専門領域で各学会、認定機構より認定を受けた薬剤師が在籍しています。患者さんへの対応だけでなく、医療スタッフに向けた啓発活動も行います。また、感染対策、クリニカルパス、医療安全などの委員会活動にも参加し、チーム医療に貢献するとともに病院運営にも関わります。

私たち病院薬剤師は、直接、対面していない時でもお薬を通して患者さんに関わっています。今後も、安全で効果的な薬物治療が行えるよう、患者さんとより深く関わっていきたくと考えています。



TOPICS

NEW
ニューフェイス!
FACE!

2019
Suzukake
Central
Hospital

すずかけ
セントラル 病院

春の到来と共に、新しいスタッフが勢ぞろい。みなさま、どうぞよろしくお祈りいたします!

新任医師紹介



血管外科

渡邊 一正
KAZUMASA
WATANABE



このたび二〇一九年一月より血管外科を担当いたします。手術を中心に多くの下肢救済、ブラッドアクセス治療、下肢静脈瘤治療に従事していきます。

健康管理センター

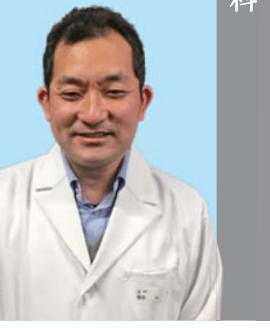
竹平安則
YASUNORI
TAKEHIRA



内視鏡検査と総合内科外来(木曜日)の担当です。専門は消化器疾患ですが、よろず相談もお気軽にどうぞ。

泌尿器科

服部 慎一
SHINICHI
HATTORI



二〇一九年二月から勤務になりました。泌尿器科全般と透析業務を担当しております。宜しくお祈りいたします。

麻酔科

古内 宏和
HIROKAZU
FURUUCHI



この度、麻酔科に赴任しました古内です。昨年度は常勤麻酔科医が不在という状況下での赴任であり、迷惑をおかけすることも多いかと存じますが、早く職場の環境に慣れ、皆様のお役にたてるように頑張りたいと思っております。よろしくお祈り致します。

健康管理センター

松山 温子
ATSUKO
MATSUYAMA



本年度より健診業務を担当させていただきますことになりました。主に健診内視鏡を行います。健康管理センターでの診療がさらに充実し、安全、安心かつ精度の高い健診を提供できるよう努力いたします。

脳神経外科

大井 政芳
MASAYOSHI
OHI



四月より当院の脊椎疾患を担当させて頂くこととなりました。静岡県東部地区で約五年間脊椎外科をメインに医療活動をしてまいりました。本来、脳神経外科医ではありますが、大半の時間を整形外科の先生と一緒に診療科の隔てなく診察、手術をしてまいりました。脊椎内視鏡手術顕微鏡を駆使して、椎間板ヘルニア、脊髄管狭窄症などのありふれた脊椎の病気を、年齢を問わず低侵襲かつ確実に治すことを心掛けて診療してまいります。お気軽にご相談ください。